

5 失語症等成人中途言語障害者への地域コミュニケーション支援事業（市民活動団体提案）（湘南失語症者を支援する会、障害者福祉課）

Q 協働の理想的な姿だと感じたが、3年間を終えて、今年度の予算は増えたかそれとも減ったか。

A（担当課） 前年と同額である。

Q 着実に進められている事業だと感じているが、評価シートを見ると「△」が一つある。その苦労などを教えてほしい。

A（団体） 基本的に苦労はないが、担当課も業務が忙しく、連絡を取ってもなかなか返事が来なかったり、早めのタイミングで会場確保してもらうことなどが大変だった。

Q 事業費と事業内容を見ると、コストパフォーマンスがよすぎるように感じたがどうか。額が不足していないか。

A（団体） ST（言語聴覚士）の謝金は、近隣の単価に即して算出している。不足してはいない。事業継続のためにSTへの対価の確保は重要だった。

Q 広報活動が後手だという話があったが、今後の予定について聞きたい。

A（担当課） 広報かまくまも紙面が限られていてなかなか難しいところがあるが、その中でも優先して大きめの記事にってもらうなどはできた。今後は、例えば、介護保険のケアマネージャー会議で紹介するなど、他課とのコーディネートに努めていきたい。